

H 2 8 地方創生事業 効果検証シート

(地方創生推進交付金事業)

1	担当課	建設課	事業費	15,409,450 円																								
2	事業名称	世界自然遺産登録推進事業																										
3	事業期間	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日																										
4	事業目的・対象等	登録に向けて野生化したネコやノラネコと並んで最大の障害となっているのが、徳之島で自生する外来植物であり、在来植物の生息を脅かしている状況にある。従来 of 生態系を保全する対策が急務である。繁殖力の強い外来植物はゴミとして処分しなければならない現状で、その処分量は年間で約6万トン以上になる。この資源を有効に活用し、特産品として活用する取り組みが喫緊の課題となっている。																										
5	事業内容	○外来植物であるギンネムやアメリカハマグルマによる被害の状況や繁殖域を継続して調査し、従来 of 生態系を維持できるよう外来植物の駆除を行う。																										
6	実績・効果等	○事業従事者数 7名 ○外来種の除去量(合計 82,147 kg) ※H27 実績 36,100kg アメリカハマグルマ 2,166 kg ・モクマオウ 41,244 kg ・ギンネム 21,800 kg ・シロバナセンダングサ 9,035 kg ・モミジバヒルガオ 7,902 kg																										
7	重要業績評価指標 (KPI)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標</th> <th colspan="2">指標値(H28)</th> <th colspan="2">実績値(H28)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">指標①</td> <td>町内就業者</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td style="text-align: center;">H29.3</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">指標②</td> <td>新たな特産品</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td style="text-align: center;">H29.3</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">指標③</td> <td>農畜産物生産額</td> <td style="text-align: center;">4,309,488</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td style="text-align: center;">H29.3</td> <td style="text-align: center;">5,270,000</td> </tr> </tbody> </table>			指標		指標値(H28)		実績値(H28)		指標①	町内就業者	4	名	H29.3	7	指標②	新たな特産品	1	名	H29.3	0	指標③	農畜産物生産額	4,309,488	名	H29.3	5,270,000
指標		指標値(H28)		実績値(H28)																								
指標①	町内就業者	4	名	H29.3	7																							
指標②	新たな特産品	1	名	H29.3	0																							
指標③	農畜産物生産額	4,309,488	名	H29.3	5,270,000																							
8	担当課評価	B	A 非常に効果的であった B 相当程度効果があった C 効果があった D 効果がなかった																									
9	上記の理由	必要な KPI を全て達成することが出来た。機械を導入して駆除しているが、外来種の生息範囲、繁殖スピードに追いつけないが継続しなければならない事業であると思う。今後の動きとして、民間企業と協力し、ゴミとして処分している外来植物のギンネムを資源として利活用を図ることで、新たな特産品の創出に繋げていく。																										

アメリカハマグルマ



○導入のいきさつ

- ・北アメリカ原産のキク科植物
- ・道路の法面等への緑化を目的として移入された
- ・園芸種としても植えられる場合がある

○特徴

- ・地面をほうようにして生え、葉は緑色で先のとがった楕円形で、ギザギザは少なく若干艶がある
- ・3cm内外の大きさのキクのような黄色い花(タンポポには似ていない)を、ほぼ一年中咲かせる
- ・開けた場所によく生えるが、水気の多い場所(湿地沿いなど)で群生している場合が多い
- ・種はあまりできないが、茎の節々から根付き、それがどんどん匍匐して広がる性質がある

○繁殖の時期

- ・一年中随時繁殖している

○徳之島での状況

- ・今の所、全島的な広がりは見られないが、局地的には大繁殖してしまっている
- ・島に元々ある似た種類は、海岸部のキダチハマグルマがあるが、今の所双方への影響は聞かない
- ・崖部でも本種はよく見かけられる
- ・山岳部などの希少植物の生息エリアには、今の所侵入はほとんど確認されていないが、入ってしまうと駆逐されてしまう等、悪影響が懸念される

○駆除作業での注意点

- ・茎から根付く性質があるので、可能な限り完全に抜き取る必要があり、不可能な場所では周囲への影響に注意して、除草剤の使用もやむを得ない
- ・刈り取った後でも、しばらくは根付く状態が維持されるので、袋に入れて焼却処分が望ましい
- ・可憐な花から、残す判断をされる事があるが、本種は要注意外来植物と認識する必要がある(但し似ている植物も多いので、種の判断には注意)

○特記事項

- ・緊急対策外来種に指定されている

モミジバヒルガオ



○導入のいきさつ

- ・詳細は不明。北アフリカが原産地で、アサガオの園芸種として今も栽培される

○特徴

- ・葉はモミジのように5枚あり、他のアサガオ類と比べると形が細かく、色は黄緑色みが比較的強い
- ・花は赤紫色で、在来のノアサガオに比べると赤みのある色である事が多く、一年中咲いている

○繁殖の時期

- ・一年中随時繁殖している

○徳之島での状況

- ・島内では非常に多く、場所を特定できない程である。また生息地ではマント状にはびこっている

○特記事項

- ・この植物は他所ではさほど繁茂していないようで、外来植物としての認識が比較的薄いと思われ、駆除に関する方法の情報収集が難しい

シロバナセンダングサ



○導入のいきさつ

- ・詳細は不明。江戸時代末期には国内に入っていたらしい。分布が拡大したのは戦後のこと

○特徴

- ・先のとがった楕円形の葉を複数つける複葉で、茎は地面をほうようにして広がる
- ・花びらは白色でキク科としては少ない枚数で、真ん中の部分は黄色く、一年中咲いている
- ・刈り払った際には薬草のような香りが強い
- ・島口では「サシ」と呼んでいる

○繁殖の時期

- ・一年中随時繁殖している

○徳之島での状況

- ・島内では外来植物の中でも最もはびこっている、と思われる位に、全島的に繁茂している。
- ・空地や荒地のみならず、コンクリートの継ぎ目のような場所にさえ生えていて、しかも途中の節々からも更に根を張っている。但し、比較的根の張りが緩いので、根こそぎ抜きやすい
- ・山岳部等の希少植物の生息エリアでも、入口付近ではよく見かける。また種が他の動物に引っ付きやすい性質からか(平地から持ち込まれて)、林道の明るい場所でも繁茂しているのを見かけるが、自然林内ではほとんど見かけなくなる

○特記事項

- ・沖縄県の宮古島等では、本種の薬効成分に着目して、島おこしに生かしている

ギンネム



○導入のいきさつ

- ・第二次大戦前は緑肥や薪炭、緑化などを目的として、小笠原や沖縄で積極的に導入された
- ・米軍が緑化を目的として戦後に導入した
- ・本種には15m程度の高木となる「ペルー型」と、5m以下(低木)の「ハワイ型」とがあるが、南西諸島で導入されたのは「ハワイ型」である

○特徴

- ・空地や荒地に真っ先に侵入する植物の一つで、他の植物が侵入する前に高密度ではびこる
- ・ネムノキやオジギソウに似た、非常に細長い楕円形の細かい葉を、左右2列にびっしり並べてつける
- ・花は白っぽい色で地味であり、一年中咲いている
- ・種はさやに入った状態で、花が終わると一か月程度で熟し、風に飛ばされて周囲にばらまかれる
- ・成長は木(低木)としては早く、1年程でそれなりの大きさになってしまう
- ・根を深く張り、根粒菌との共生もして、乾燥したやせ地にもよく耐えて育つ

○繁殖の時期

- ・一年中随時繁殖している

○徳之島での状況

- ・全島的にみられ数も多い。但し、他所の島でみるような、完全に本種だけがはびこった状態は少ない
- 他所では、本種だけが高密度で茂ってしまって、他の一切の植物が入り込めない場所をよく見かける
- ・空地や荒地、あるいは道路や畑の法面では、必ずといっていいほど見かける植物となっている
- ・山岳部等の希少植物の生息エリアでも、入口付近ではよく見かける。但し奥地には入り込んでいない。

○特記事項

- ・本種には若葉や芽に、ミモシンという有毒成分がある事が知られているが、一方で薬効成分についても着目され始めている

モクマオウ



○導入のいきさつ

- ・オーストラリア原産。潮風に耐え成長が早い為、海岸防潮林造成を目的として導入された

○特徴

- ・成長が早く大高木になるが、材が固すぎるせいもあって、強風に対しては折れやすい
- ・根の張りが浅く、成長するにつれて、遊歩道整備をした場所等では、根が表面近くをほうようになり、道をガタガタにしてしまう
- ・葉のように見えるのは小枝で、葉自体は退化している。因みに針葉樹のようにみえて広葉樹である
- ・本種が広葉樹である特徴として、地味な花を咲かせて実をつける。花は春ごろ見かけるが、他の時期に咲くかははっきりしない
- ・本種の植物体は分解が遅く、土壌を貧しくさせる

○繁殖の時期

- ・種子をつける時期ははっきりしない
- ・種子には耐潮性があり、そういう意味では一年中繁殖可能とも考えられる

○徳之島での状況

- ・海岸では旺盛に繁茂していて、海岸に近い場所では、数多く逸出している
- ・内陸部でもまばらに見かける。海岸に出かけた車が種を持ち込んで生えたと推察される

除去作業実施場所	対象種	人数	除去量(kg)	実施日	備考
徳之島トンネル出口 天城町側～三京セリ 市場 ※農免農道沿い	アメリカハマグルマ	38	58	4/25～4/28,8/8～8/13	
	モクマオウ	9	292	4/25,8/9	
	ギンネム	151	1487	4/18～5/21,8/8～8/22	
	シロバナセンダングサ	151	416	4/18～5/21,8/8～8/22	
	モミジバヒルガオ	134	176	4/18～5/18,8/8～8/20	
三京セリ市場～当部 ※	アメリカハマグルマ	156	284	5/23～6/18,12/1～12/17	
	モクマオウ	15	415	5/30～5/31,12/12～12/13	
	ギンネム	226	4127	5/23～6/30,12/1～12/28	
	シロバナセンダングサ	226	826	5/23～6/30,12/1～12/28	
	モミジバヒルガオ	196	586	5/23～6/25,12/1～12/23	
当部～瀬滝 ※	アメリカハマグルマ	55	148	7/25～7/29,10/17～10/22	
	モクマオウ	55	5564	7/25～7/29,10/17～10/22	
	ギンネム	121	2368	7/25～8/6,10/17～10/31	
	シロバナセンダングサ	121	1067	7/25～8/6,10/17～10/31	
	モミジバヒルガオ	121	892	7/25～8/6,10/17～10/31	
当部～天城 ※	アメリカハマグルマ	106	325	9/5～9/24,3/1～3/10	
	モクマオウ	69	7156	9/12～9/24,3/5～3/10	
	ギンネム	159	3565	9/1～9/30,3/1～3/17	
	シロバナセンダングサ	159	2056	9/1～9/30,3/1～3/17	
	モミジバヒルガオ	159	1721	9/1～9/30,3/1～3/17	
天城～岡前 ※	アメリカハマグルマ	55	208	11/22～11/29,3/22～3/31	
	モクマオウ	37	3478	11/22～11/25,3/21～3/24	
	ギンネム	64	1346	11/22～11/30,3/21～3/31	
	シロバナセンダングサ	64	464	11/22～11/30,3/21～3/31	
	モミジバヒルガオ	64	437	11/22～11/30,3/21～3/31	
岡前～松原 ※	アメリカハマグルマ	38	166	4/6～4/16,7/24～7/27	
	モクマオウ	20	3224	4/11～4/15,7/24～7/25	
	ギンネム	52	896	4/4～4/16,7/24～7/29	
	シロバナセンダングサ	52	382	4/4～4/16,7/24～7/29	
	モミジバヒルガオ	52	374	4/4～4/16,7/24～7/29	
松原(農免農道沿い) ～与名間	アメリカハマグルマ	70	238	8/23～8/27,2/6～2/24	
	モクマオウ	25	3712	8/23～8/24,2/6～2/10	
	ギンネム	104	1973	8/23～8/31,2/1～2/28	
	シロバナセンダングサ	104	1024	8/23～8/31,2/1～2/28	
	モミジバヒルガオ	104	1003	8/23～8/31,2/1～2/28	
秋利神(県道旧道)	アメリカハマグルマ	42	175	10/1～10/8	
	モクマオウ	54	5861	10/1～10/11	
	ギンネム	78	1738	10/1～10/15	
	シロバナセンダングサ	78	557	10/1～10/15	
	モミジバヒルガオ	78	535	10/1～10/15	
真瀬名川沿い	アメリカハマグルマ	89	416	7/1～7/15,11/9～11/18	
	モクマオウ	69	7346	7/4～7/15,11/14～11/18	
	ギンネム	113	2849	7/1～7/23,11/9～11/21	
	シロバナセンダングサ	113	1948	7/1～7/23,11/9～11/21	
	モミジバヒルガオ	113	1912	7/1～7/23,11/9～11/21	
南川沿い(大字岡前)	アメリカハマグルマ	26	148	11/1～11/4,2/27～2/28	
	モクマオウ	42	4196	11/1～11/8,2/27～2/28	
	ギンネム	42	1451	11/1～11/8,2/27～2/28	
	シロバナセンダングサ	42	295	11/1～11/8,2/27～2/28	
	モミジバヒルガオ	42	266	11/1～11/8,2/27～2/28	
延べ人数:4353人		延べ日数:1156日			

表2 除去活動及び除去結果一覧(種別)

種名	合計/除去量(kg)
アメリカハマグルマ	2166
モクマオウ	41244
ギンネム	21800
シロバナセンダングサ	9035
モミジバヒルガオ	7902
合計	82147



H28 地方創生事業 効果検証シート

No.	2
-----	---

(地方創生加速化交付金事業)

1	担当課	企画課	事業費	9,793,000 円																									
2	事業名称	「奄美・琉球」世界自然遺産登録に向けたネコ対策事業																											
3	事業期間	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日																											
4	事業目的・対象等	<p>平成27年度末現在において、徳之島3町併せて516頭の飼い猫、1,620頭のノラネコの避妊去勢手術を行っている。さらに、環境省は森林部に入り込み野生化したネコ（ノネコ）の捕獲を行い、これまで約90頭のノネコが捕獲・避妊去勢手術されており、捕獲したネコは徳之島3町ネコ対策協議会が運営する収容施設（地方創生先行型事業【実施主体：天城町】にて整備）に収容し、順化・譲渡を行っている。</p> <p>ネコの繁殖力は非常に高く、年3回程度繁殖し、1回の出産で最大7頭の子を産むことを鑑みると、これまでのネコ対策の手を緩めることは世界自然遺産登録への喫緊の課題解決の挫折にもなりかねないため、当該取組を短期間で集中して行う必要がある。</p> <p>※平成28年1月28日の三町協議において、徳之島ネコ対策協議会の事務局である徳之島町を代表町として交付金申請</p>																											
5	事業内容	山岳部及びその周辺のネコの徹底した捕獲を行い、捕獲したノネコの個体管理を行いながら、里親を募集。																											
6	実績・効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理員 天城町1名（全体1名） ・ネコ飼育・捕獲作業員 天城町5名（全体10名） ・避妊去勢されたネコの総数 941頭（徳之島全体） ・アマミノクロサギの個体数の維持（推定200頭【徳之島全体】） 																											
7	重要業績評価指標（KPI）	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">指標</th> <th colspan="2">指標値(H28)</th> <th colspan="2">実績値(H28)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left;">指標①</td> <td>町内就業者数</td> <td>1</td> <td>名</td> <td>H28.3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">指標②</td> <td>避妊去勢されたネコの総数</td> <td>600</td> <td>名</td> <td>H28.3</td> <td>941</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">指標③</td> <td>クワガタの個体数</td> <td>200</td> <td>名</td> <td>H28.3</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>				指標		指標値(H28)		実績値(H28)		指標①	町内就業者数	1	名	H28.3	6	指標②	避妊去勢されたネコの総数	600	名	H28.3	941	指標③	クワガタの個体数	200	名	H28.3	200
指標		指標値(H28)		実績値(H28)																									
指標①	町内就業者数	1	名	H28.3	6																								
指標②	避妊去勢されたネコの総数	600	名	H28.3	941																								
指標③	クワガタの個体数	200	名	H28.3	200																								
8	担当課評価	A	<ul style="list-style-type: none"> A 非常に効果的であった B 相当程度効果があった C 効果があった D 効果がなかった 																										
9	上記の理由	徳之島全体で広域的な取り組みを展開していくことで、各町間での意識の高揚にも繋がった。また、世界自然遺産登録に向けての先進的な取組みとしてメディアにも取り上げられた。しかし、次年度の事業費を国や県の補助事業で確保する事ができず、運営の対応に苦慮している事が課題である。																											

事業の概要

事業費：

H27 実施事業費：9,212 千円（地方創生事業 先行型＋上乘せ分・天城町単独実施）

H28 実施事業費：33,061 千円（地方創生事業 加速化交付金・徳之島3町で実施）

H28 活動状況（平成29年3月31日現在）

従事者

飼育従事者数：1名

捕獲従事者数：ノラネコ・・・各市町村担当課で対応 ノネコ・・・環境省がNPO法人虹の会へ業務委託

捕獲・飼養管理

捕獲総数 140 頭（返却（所有者判明）1 頭） 譲渡頭数 51 頭（島外譲渡 9 頭 島内譲渡 42 頭）

死亡頭数 59 頭 現在飼養頭数 29 頭

健康ノネコ 20 頭 白血病ノネコ 1 頭 エイズノネコ 8 頭

飼養施設と

取組内容



事務所隣の車庫をネコ舎に改造



飼養室は動物病院処置後のノネコと TNR 捕獲ノラネコの一時収容スペースとして活用している。

平成28年度ノネコ実績

年月	捕獲総数	譲渡数	死亡数	返却数	飼育数				
					飼育総数	健康	エイズ	白血病	検査待ち
2017/3/31	140	51	59	1	29	20	8	1	0

平成28年度ノラネコTNR実績

	徳之島町	天城町	伊仙町	合計
4月	2	0	8	10
5月	61	0	55	116
6月	66	7	52	125
7月	40	7	49	96
8月	13	24	56	93
9月	35	21	18	74
10月	24	21	41	86
11月	63	14	30	107
12月	27	7	19	53
1月	41	0	0	41
2月	23	3	21	47
3月	14	2	4	20
合計	409	106	353	868

平成28年度飼い猫不妊去勢手術実績

	徳之島町	天城町	伊仙町	合計
4月	0	0	3	3
5月	3	0	2	5
6月	6	1	20	27
7月	2	0	1	3
8月	1	0	0	1
9月	0	0	0	0
10月	0	3	0	3
11月	0	1	0	1
12月	2	4	1	7
1月	3	0	6	9
2月	4	0	2	6
3月	2	5	1	8
合計	23	14	36	73

H 2 8 地方創生事業 効果検証シート

(地方創生加速化交付金事業)

1	担当課	商工水産観光課	事業費	21,458,118 円			
2	事業名称	合宿日本一“島”推進事業					
3	事業期間	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日					
4	事業目的・対象等	<p>天城町総合運動公園多目的広場周辺の改修を行い、また、島民が一体となって誘致の受入態勢ができる環境づくりに努める。</p> <p>積極的な誘致活動と「おもてなし」精神による地元の受入態勢を改善することにより、スポーツを活用した徳之島観光の新たな魅力の創出や着地型観光につなげ島全体の産業振興や雇用創出を図り、移住者の増加に繋げていく。</p>					
5	事業内容	<p>○ソフト事業</p> <p>・受入・誘致の活動費、講師・講習会、パンフレット作成、広告宣伝</p> <p>○ハード事業</p> <p>・総合運動公園多目的広場の改修工事</p>					
6	実績・効果等	<p>○合宿受入団体数・延べ人数の増加</p> <p>○多目的広場の改修</p>					
7	重要業績評価指標 (KPI)						
		指標		指標値 (H28)		実績値 (H28)	
		指標①	合宿受入団体数	21	団体	H29.3	44
		指標②	合宿受入延べ人数	5,100	人	H29.3	6,669
指標③	観光入り込み客数	47,000	人	H29.3	46,984		
8	担当課評価	B	<p>A 非常に効果的であった</p> <p>B 相当程度効果があった</p> <p>C 効果があった</p> <p>D 効果がなかった</p>				
9	上記の理由	ソフト面・ハード面によって、年々効果が出てきている。一方で付随する観光客を連動して増やすことができなかったため、今後の態勢を強化する必要がある。					

スポーツ合宿状況及び各種受入状況等

スポーツキャンプ・合宿状況 (H28実績) 6,669人

卓球	(延べ人数	30人)
スキューバ	(延べ人数	457人)
陸上競技	(延べ人数	4,129人)
野 球	(延べ人数	2,053人)

合宿受入実績

年度	団体数	延べ人数
H25	23団体	4,089人
H26	22団体	5,218人
H27	34団体	5,796人

クルーズ船受入状況 (実績)

H23年5月6日	ふじ丸 (商船三井客船所有)	250名
H24年7月9日	にっぽん丸 (商船三井客船所有)	250名
	ぱしっふいっくびいなす (日本クルーズ客船)	400名
H25年11月1日	ぱしっふいっくびいなす (日本クルーズ客船)	320名
H26年8月29日	ぱしっふいっくびいなす (日本クルーズ客船)	348名
H29年4月15日	ぱしっふいっくびいなす (日本クルーズ客船)	260名
H29年10月19日	にっぽん丸 (商船三井客船所有)	入航予定 (約300名)

トライアスロン大会 (H29実績)

平成29年6月25日 (日)

徳之島一周レース スイム、バイク、ラン 合計97キロ

参加申込者781人

(総合の部518人, リレーの部93人, チーム263人)

キッズトライアスロン大会 (H29実績)

平成29年6月24日 (土)

スイム、バイク、ラン 合計2キロ~5.5キロ

対象: 小中学生 参加者116人

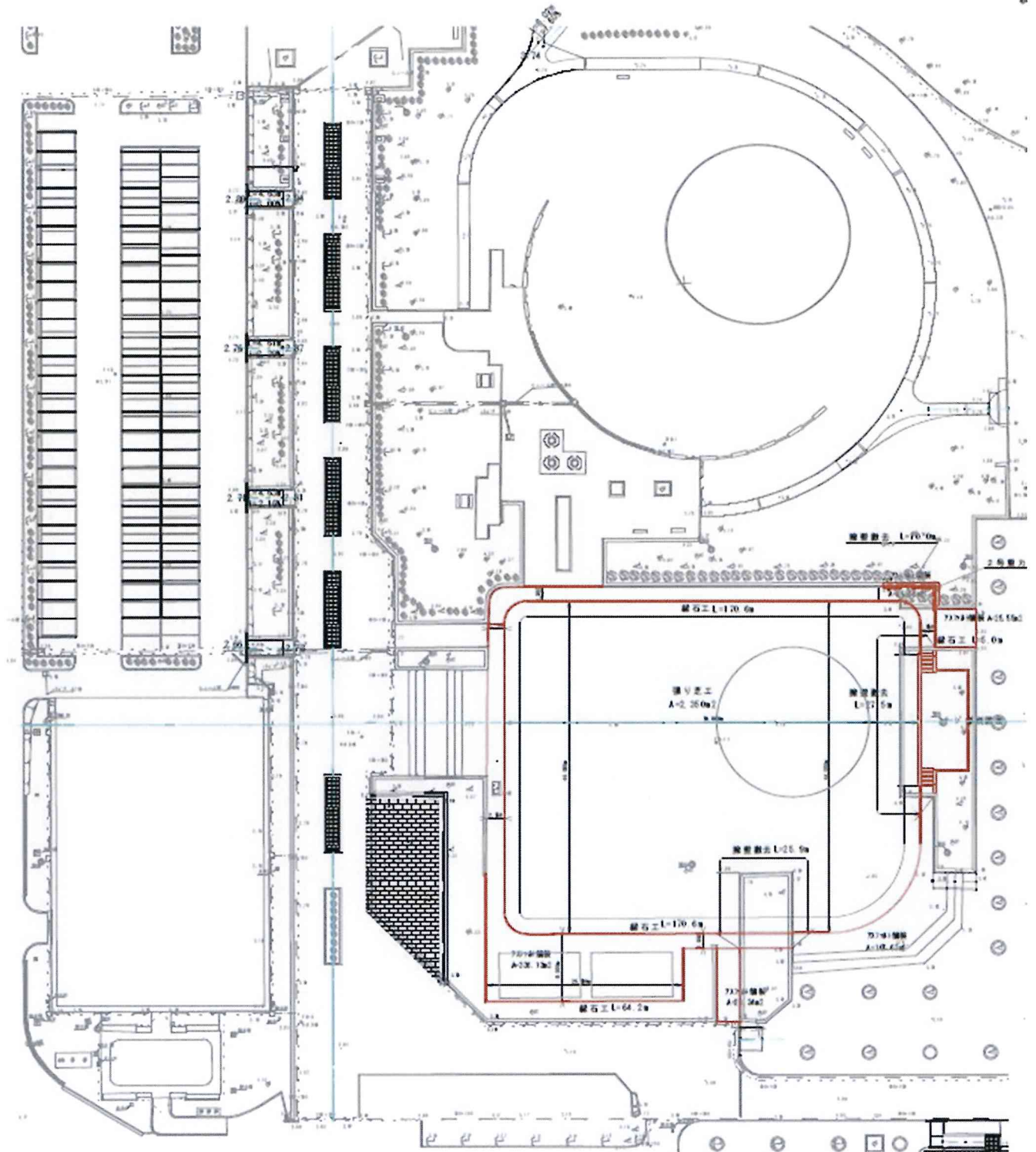
天城町B&G海洋センター体育館リニューアルオープン記念 特別講習

平成29年2月19日 (日)

講師: 京都サンガFCコーチ 福中 善久氏

対象: 小中学生 参加者300人

天城町総合運動公園多目的広場改修工事



改修後

おもてなし風景



H 2 8 地方創生事業 効果検証シート

(地方創生推進交付金事業)

1	担当課	農政課	事業費	16,033,341 円																									
2	事業名称	新規就農者研修生受入体制整備事業																											
3	事業期間	平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日																											
4	事業目的・対象等	既存の施設（農業センター）を活用して、農業専門の指導者を招き、町内の新規就農希望者や町外からのU I Jターン者を募集し、農業に関する基礎知識や栽培技術指導を行うことで、本町の農業の担い手を確保する。また、宿泊棟の改修工事を行い、小中学生やIターン者を対象とした、農業体験型宿泊研修の構築を図る。																											
5	事業内容	<input type="checkbox"/> 農業塾の充実 <input type="checkbox"/> 町外からの移住者を含めた農業研修生の募集 <input type="checkbox"/> 宿泊棟屋内改修・防水工事																											
6	実績・効果等	<input type="checkbox"/> 指導員1人（農業センター所長）研修生指導・業務総括 <input type="checkbox"/> 新規就農者の確保3人・内農業研修生2名（20代1名40代1名50代1名） <input type="checkbox"/> 宿泊棟屋内改修・防水工事 <input type="checkbox"/> 農業塾の充実 年6回開催 参加者288名																											
7	重要業績評価指標 (KPI)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">指標</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">指標値(H28)</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">実績値(H28)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">指標①</td> <td>新規就農者数</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td style="text-align: center;">H29.3</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">指標②</td> <td>農畜産物生産額</td> <td style="text-align: center;">4,309,488</td> <td style="text-align: center;">千円</td> <td style="text-align: center;">H29.3</td> <td style="text-align: center;">5,270,000</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">指標③</td> <td>農業塾受講者数</td> <td style="text-align: center;">238</td> <td style="text-align: center;">名</td> <td style="text-align: center;">H29.3</td> <td style="text-align: center;">288</td> </tr> </tbody> </table>				指標		指標値(H28)		実績値(H28)		指標①	新規就農者数	4	名	H29.3	3	指標②	農畜産物生産額	4,309,488	千円	H29.3	5,270,000	指標③	農業塾受講者数	238	名	H29.3	288
指標		指標値(H28)		実績値(H28)																									
指標①	新規就農者数	4	名	H29.3	3																								
指標②	農畜産物生産額	4,309,488	千円	H29.3	5,270,000																								
指標③	農業塾受講者数	238	名	H29.3	288																								
8	担当課評価	A	A 非常に効果的であった B 相当程度効果があった C 効果があった D 効果がなかった																										
9	上記の理由	農畜産物生産額は、目標を上回る事ができた。また、農業塾受講者数についても、農業塾の充実を図ることができ、目標を上回った。新規就農者数については、島内外への周知を徹底させる必要がある。																											

H28年度 地方創生（横展開タイプ）新規就農者営農支援事業

1. 予算額（対象内経費）

科目	予算額	支出額	残額	備考
共済費	319,000円	318,952円	48円	嘱託職員
賃金	3,514,000円	3,510,562円	3,438円	嘱託・土壌分析作業員
報償費	2,494,000円	2,181,683円	312,317円	研修報償
需用費	1,453,000円	1,443,056円	9,944円	修繕料・消耗品・燃料費
委託料	450,000円	432,000円	18,000円	設計管理委託
工事請負費	7,658,000円	7,657,200円	800円	宿泊棟改修工事
備品購入費	500,000円	489,888円	10,112円	和机・寝具購入
合計	16,388,000円	16,029,341円	354,659円	

2. 雇用（計4人）

(1) 嘱託職員 1人

氏名	年齢	住所	役職	業務内容
瀬川 裕美	68歳	鹿児島県天城町	センター所長	研修生指導・業務総括

(2) 土壌分析作業員 3人

名前	年齢	住所	業務内容
石原 多津子	66歳	鹿児島県天城町	町内農家より持ち込まれた土壌の分析作業
正岡 美保	32歳	〃	〃
有馬 広子	55歳	〃	〃

(3) 研修生 2人

名前	年齢	研修後動向	住所	備考
研修生 A	51歳	町ハウス2年間＋本人農地にて自主経営 (メロン・パッション・露地園芸)	鹿児島県天城町	
研修生 B	45歳	町ハウス2年間＋本人農地にて自主経営 (メロン・パッション・キビ・馬鈴薯)	鹿児島県天城町	

3. 土壌分析件数 ※分析項目 (ph・EC・Ca・Mg・P・有機物含有量・中和石灰量)

	4～9月	10月～3月	品目	合計
農家数	252	256	主に	508
サンプル数	413	410	馬鈴薯	823
分析点数	2,478	2,460	さとうきび	4,938

4. 土壌診断依頼した農家からの評価

- ・作物に合わせた、土壌改良資材の投入量が分かるので、生産性向上に役立っている。
- ・診断表を基に町農政課と連携した、土壌改良資材の助成事業があり助かっている。
- ・的確な施肥量が分かり、肥料代のコスト削減につながった。
- ・土作りの重要性が認識できた。

5. 研修品目

品目	生産量
苗類（野菜・花・果樹）	6, 921株
メロン	197kg
トルコギキョウ	1, 130本
グラジオラス	640本
パッションフルーツ	7月から収穫
実えんどう	52kg

6. 研修生からの評価

問1 町に農業を学べる施設があつて良かったですか？

- ・農業を始めるにあたって、何から始めれば良いのか分からなく学べる施設があり良かった。
- ・農業の基本を学べる施設があり、良かった。
- ・同期研修生、OB研修生が居るので、これから農業する仲間ができ良かった。

問2 研修内容はどうでしたか？

- ・町内の先進農家の視察や先輩農家との繋がりを作ってもらい、研修終了後も相談できる環境ができて良かった。
- ・実技主体の研修でしたが、日に日に成長していく様子が分かり、農業に対して今まで以上に興味が沸いてきた。
- ・独学で農業をしてきたが、基本的な事や理論が学べて良かった。
- ・販路や販売方法をもっと学びたかった。
- ・施設作物だけでなく、露地作物の実技研修をもっと学びたかった。

7. 農業塾

テーマ	内 容	開催月	講 師	受講者数
夏野菜作り	夏野菜栽培・農業機械安全操作	5月	経済連・農セ職員	43
土作りと施肥	徳之島の土壌の特徴・施肥技術	7月	県職員	53
秋冬野菜栽培	秋冬野菜の栽培方法	9月	農セ職員	58
施設栽培	ハウス栽培・有機栽培	11月	県職員2名	42
播種と育苗	夏野菜の種まきと育苗法	1月	農セ職員	46
草花栽培	家庭用草花の作り方	3月	県職員	46
合 計		6回		288名

8. 農業塾受講生からの評価

- ・野菜を栽培するための、苗作り・畝の作り方・各野菜の仕立て方等、基本の勉強ができて良かった。
- ・資料だけでなく、実技も組み込んでいるので理解しやすい。
- ・島に住んでいながら、島の土壌の成り立ちや特徴を知らなかったので、土作りの勉強になった。
- ・農業塾で勉強した事により、今までより野菜を育てるのが楽しくなった。
- ・農業の基本が学べる勉強会が、天城町でしか開催していないので、羨ましく思う。
- ・独学で栽培していたが、基本の理論が理解できた。
- ・最新の技術が身につけて、自分の栽培方法に自信がついた。
- ・家庭菜園作りの仲間ができた。

9. 宿泊棟

改装項目	面積・規模	金額
天井張替え	2部屋・廊下=120㎡	7,657,200円
各部屋壁紙張替え	6部屋=222㎡	
畳・表替え	4部屋=40枚	
床・フローリング張替え	3部屋=49㎡	
廊下シート張替え	65.7㎡	
トイレ増設・改装	2組増設・1組改装	
廊下照明器具取替え	9台	
ケーブル・給水・排水設備工事	一式	

H28年度 新規就農者営農支援事業

修繕前・廊下



修繕後・廊下



修繕前・宿泊室



修繕後・宿泊室



修繕前・宿泊室



修繕後・宿泊室

